

# 女性の在宅ワーク 後押し

## クラウドソーシング導入

### ネットです仕事を受発注

兵庫・加古川市

インターネットを使って仕事を受発注する「クラウドソーシング」。兵庫県加古川市は現在、国の地方創生に向けた交付金を活用してクラウドソーシング



### 体験セミナー、主婦らに好評

事業を実施し、女性向けの在宅ワークの推進や行政課題の解決に乗り出している。

クラウドソーシングは、データ入力といった簡単な作業から、アプリ開発など専門性の高いものまで分野にわたる仕事を、企業などの発注者がインターネットを通して受注者を募る仕組み。受注者はインターネットにつながってさえいれば、時間や場所に制約されずに働けることから、主婦や高齢者を中心に人気が高まり、急成長中の事業形態となっている。

「自分や子どもにも負担をかけずに働ける」と語るのは、同市内に住む主婦の榮澄さんだ。榮さんは3人の子どもを育児中に、市主催の在宅ワークのセミナーに参加。「軽い気持ちで参加したが、気を付けるべき点

在宅ワークについて榮さん(中央)から意見を聞く加古川市議会公明党のメンバー



など、分かりやすかった」と、セミナーを契機に在宅ワークに挑戦することを決めたという。以前、看護師をしていた経緯から、ヘルプデスクの回答の作成などを受注。現在、月収は多い時で5万円に上るといふ。

市は、榮さんのような在宅ワーカーを育てるため、昨年度に続き、今年度も女性向けの体験セミナーを10月に開催。参加した21人の主婦らが現在、在宅ワークに挑戦中だ。

一方、市はクラウドソーシングの他の使い方にも着目。昨年末、同セミナーのポスター案をクラウドソーシングを使って募集したところ、優れたアイデアが多

### 各種事業に活用も

デザイン募集など

クラウドソーシングで募集し正式に採用された「ふるさと納税記念品パンフレット」(加古川市提供) くら寄せられたことから、行政課題の解決にも応用できると判断。早速、今年1月に「ごみ減量」のアイデアを募集し、生ごみを堆肥づくりに活用する案や、ごみを極力出さない南極料理の普及など30点を優秀提案に選出した。また「ふるさと納税記念品パンフレット」のデザインについても、クラウドソーシングで寄せられた案の中から正式に採用した。

こうした経緯を踏まえ、市議会公明党(相良大悟幹事長)はこのほど、在宅ワーカーの増加やクラウドソーシングの活用策について、榮さんや市の担当者らと意見を交換。セミナーの参加者が主に母親であることから託児所の必要性や、行政課題の解決にも、クラウドソーシングが有効であることを確認した。 女性の働き方改革と、その支援策については、公明党の小澤敬子市議が昨年9月の一般質問で取り上げるなど推進していた。